



No.103

さいばいニュース

公益財団法人
神奈川県栽培漁業協会

発行所 〒238-0237
神奈川県三浦市三崎町
城ヶ島養老子
☎ 046(882)6980
FAX 046(881)2233

新年あけましておめでとうございます。昨年中は、神奈川県栽培漁業協会の事業に対して皆様のご理解と多大なご支援を頂き、御礼申し上げます。日本の経済は、二%の物価上昇を目指し、マイナス金利と量的緩和によってデフレ



新年のご挨拶

公益財団法人 神奈川県栽培漁業協会
理事長 太田 議

シヨンの脱却を図ることをしてきましたが、なかなか景気は向上かない状況です。魚価も下がる一方で、水揚げ金額が思うように上昇せず、漁家経営も厳しさが増しています。

漁場も三浦半島では、カジメ海中林がアイゴの被害によって磯焼け状況が広がり、アワビ、サザエ等の漁獲が激減しています。栽培漁業にとり、種を播く畑が荒らされてしまい、

早急に回復措置をとらないと、この漁業に依存する漁業者の減少を招きかねません。カジメとアラメは、イセエビやメバル、カサゴ、アオリイカなどのすみ場でもあり、沿岸漁業の基盤でもあります。一方、西湘地区では、ヒラメの豊漁が続いています。この状況を漁業者は、種苗放流の効果との認識を持っていて、近年の種苗放流効果が現れているとともに、全長三十五cm以下のヒラメを再放流する資源管理を併せた結果と思えますが、親魚を残し、次の世代の再生産資源も確保しておくことも必要です。これからの資源を上

手に漁獲し、高く売って、漁家経営を維持できるようにしていきたいものです。東京湾では、マコガレイ資源の回復が、漁業者の要望として高いものがありますが、底層の酸素が夏から秋にかけてゼロになり、生息環境として極めて厳しいものがあります。これらの環境の改善は、海水に酸素が溶け込む浅場域が必要であり、浅場の造成をするように県民とともに働きかけていきたいと考えています。

栽培漁業協会では、漁業者及び遊漁者・遊漁案内業者の要望に沿った、種苗の供給を引き続き努力していきます。

潮騒

日本は少子高齢化が進むとともに人口の減少が続いています。そこで海外に魚の販路拡大を求め、動きが顕著になってきています。国の農水産物の輸出拡大の方針に応じて各地の自治体などが水産物の輸出促進を支援しています。世界は、今、日本食ブームです。これにあやかっただけで日本水産物を売り込もうというわけではなく、東南アジア諸国は、経済発展が

目覚ましく、しかも、飛行機だと日本から四時間とか六時間と近く、タイ、シンガポール、フィリピンなどには「運び屋」と呼ばれる人たちが週に複数回、日本の水産物を運んでおり、トロ、カニ、イクラ、ウニなどを食べたがる若い人が増えていると聞きます。このように、高価なものでなくてもいいようです。日本食材の鮮度や品質に信頼感が強いのも事実です。そのことから、近隣の東南アジア諸国に、日本の水産物の販路確保・拡大の可能性があると見えます。



めでたいフク



名な山口県下関市南風泊市場は、フグをフクと呼んで、福を呼ぶ魚、トラフグを扱っている日本でも最大の市場です。神奈川県でも昔から、東京湾でシヨウサイフグやアカメフグを遊漁で獲っていましたし、トラフグもたまにわずかばかり漁獲されています。また近年、クサフグの産卵観察イベントが行われています。フグはご承知の通り、猛毒のテトロドキシンを持ち、「フグ

は食べたし、命は惜しい」の諺にあるように、極めて美味だが、調理を誤ると、死に至る魚です。近年では、西日本や内陸でも養殖が行われ、四千〜五千トンが生産されています。天然では、全国でフグ類として五万トン、南風泊のトラフグ取扱量が千トン前後と少なく、単価は養殖が二千円前後、天然が四千から六千円となっています。神奈川県でも二〇〇三年、横須賀市長井町の漁業者からト

ラフグの種苗放流とラフグの再捕獲が期待されています。そこで二〇〇四年、当時の独立行政法人水産総合研究センター南伊豆栽培漁業センターから水産技術センターに試験的に種苗を供給していただき、栽培漁業協会が種苗供給事業として相模湾に一万二千尾を放流したのが最初でした。水産技術センターでは、相模湾と東京湾に種苗を放流し、その移動と放流の効果について二〇〇六年から調査しています。

その報告書によると、東京湾に放流されたトラフグは底引き網で獲られ、千葉の内房、東京湾口、遠くは常磐で

下関・南風泊ではフグはめでたいフグに

はえどまり

ラフグの種苗放流とラフグの再捕獲が期待されています。そこで二〇〇四年、当時の独立行政法人水産総合研究センター南伊豆栽培漁業センターから水産技術センターに試験的に種苗を供給していただき、栽培漁業協会が種苗供給事業として相模湾に一万二千尾を放流したのが最初でした。水産技術センターでは、相模湾と東京湾に種苗を放流し、その移動と放流の効果について二〇〇六年から調査しています。

相模湾で放流されたトラフグ標識魚は、主に定置網と延縄で同湾内で再捕獲されています。東京湾と相模湾では成長に差があり、東京湾で一年に二cmほど早く成長します。東京湾放流群は一歳で二三mm、二歳で三三六mm、三歳で四一五mmに成長します。

漁獲物中の放流魚の割合すなわち混入率は三十二%から八十七%と高く、神奈川県トラフグ漁獲物は放流魚によって支えられ、二〜三トンが漁獲されて

います。回収率は、三・二%から十六・三%で平均六・八%でした。この値は、西日本や遠州灘で行われている種苗放流の効果を上回る数値です。トラフグは大陸棚が広く、河川が流入する砂浜地やアマモ場が幼稚仔の生育場として知られており、稚魚を放流する場所は、浅くて、稚魚が潜れる砂場が必要と見えます。

あけましておめでとうございます 公益財団法人神奈川県栽培漁業協会の事業の発展を祈念いたします

タムラ運送サービス株式会社

全国においしさを運びます
代表取締役 田村 琢馬
本社 〒239-0831
横須賀市久里浜一〇〇〇一
TEL 046-818-4100
FAX 046-818-4100
長井営業所 〒238-0316
横須賀市長井五三三六
TEL 046-818-5714
FAX 046-818-5714

相模湾遊漁問題 対話推進協議会

会長 久保田源太郎
〒250-0021
小田原市早川一〇〇一
TEL 0465-112159
FAX 0465-113154

相模湾水産振興事業団

環境保全と水産業の振興を
公益財団法人
理事長 武井 正
〒250-0021
小田原市早川一〇〇一
TEL 0465-112159
FAX 0465-113154

東京湾遊漁船業協同組合

理事長 飯島 正宏
〒140-0002
東京都品川区東品川一七七一
TEL 03-347-1740
FAX 03-347-1835

全国豊かな海づくり推進協会

公益財団法人
会長 岸 宏
〒103-0001
東京都中央区日本橋小伝馬町九一六
小伝馬町松村ビル六階
TEL 03-565-1350
FAX 03-565-1350

改めて、放流適地を考える



栽培漁業協会では、マダイ、クロダイ、マコガレイ、カサゴ、メバル、カワハギの稚魚を、毎年、神奈川県沿岸の資源を増やすため、各事業者に種苗を購入して頂き、放流しています。



ホースでマダイ稚魚を海岸に放流

試験研究時代は、種苗の生き残りが高い条件は何かということ、5W1H誰が、何を、何時、何で、何処へ、どのくらいの大きさで、どのような方法で放流することが適切かを知るため、調査・研究がなされてきました。

やはり、種苗を放流する主体が購入者で、どうしても購入者の意向によって種苗購入者の地先に放流することになります。

トラフグの種苗も同じで、ヒラメも放流場所には、潜砂できる底質を選んで下さい。

つれて、移動します。したがって、放流事業者は、地先だけではなく、漁獲サイズになるまでの移動経路を考えた、他の地域の適地に放流することをもう一度、考えて下さい。

また、定置網や底曳網によって不合理に漁獲される場所には、放流を避けて下さい。

東京湾では、最も気を付けないといけない放流は、貧酸素水塊がないことであり、最低でも溶存酸素素が3ppm以上の場所と時期を選んで下さい。

種苗の種類によって、その生活史としての発育段階のどのステージにあるのかの見極めをして、放流場所を決めてもらいたいと思っています。

例えば、ヒラメの稚魚は、砂浜の浪打際、海水浴場で足首ぐらゐの水深に棲んでいます。したがって、漁船を使うと、喫水以浅には行けないので、つい深い水深に放流することになります。

また、放流場所に漁獲サイズまで留まる種類は少なく、成長するにつれて、移動します。

現在、アラメ・カジメの磯焼けが起きていますが、種苗の放流場所としては、これら寄り藻をアラビ等が確保できるかどうか、よく観察して下さい。

また、放流場所には、漁獲サイズまで留まる種類は少なく、成長するにつれて、移動します。

この放流の内訳は、当協会の種苗放流事業分三十万尾とマダイ協力金分七万尾です。これに加え、当協会の種苗供給事業で、相模湾水産振興事業団が八万五千尾、

真鶴町・真鶴漁港内に八万尾の稚魚を放流しました。また、九月九日に横須賀市・久比里沖に七千尾、九月二十日に横浜市・金沢沖に二万尾を放流しました。

このほか、栽培普及啓

ヒラメ種苗は昨年七月、十一日に平塚市沖に五千尾、十四日に小田原市早川沖に一万五千尾、十九日に横須賀市走水沖に一万尾、三浦市金田湾沖に五千

尾、二十三日に横浜市柴沖に一万尾、二十六日に横須賀市長井沖に一万尾、佐島沖に五千尾を放流しました。

マコガレイ 四月六日、横浜市大黒埠頭で生麦子安分及び横浜東漁協分として各五万尾、五月二十四日に横須賀市東部漁港内に二千尾のマコガレイ種苗を放流しました。

クロダイ 種苗は昨年十月、二日に横須賀市長井沖に五千尾、三日に横須賀市久里浜沖に四万尾、十三日に横浜市金沢沖に五千尾を放流しました。

二十八年度 種苗放流・供給・普及啓発事業

神奈川県下の海にマダイ、ヒラメ、マコガレイ、クロダイ種苗を放流



日本釣用品工業会が二十万尾を、当協会から購入して放流しました。

さらに八月四日、当協会事業としてマダイ種苗は、合計約七十七万尾に達しています。

四月六日、横浜市大黒埠頭で生麦子安分及び横浜東漁協分として各五万尾、五月二十四日に横須賀市東部漁港内に二千尾のマコガレイ種苗を放流しました。

クロダイ種苗は昨年十月、二日に横須賀市長井沖に五千尾、三日に横須賀市久里浜沖に四万尾、十三日に横浜市金沢沖に五千尾を放流しました。



漁船から海に落ちる

信装置を見学、漁船から落水し、その情報に直ちに届くのを速さに驚いていました。

長井漁港で小型船舶救急支援装置説明会

神奈川県漁業無線協会(磯部進会長)は昨年九月二十七日、漁業者の生命と財産を守るため、横須賀市の長井漁港で「小型船舶救急支援システム」の説明・落水実験公開デモを行いました。

あけましておめでとうございます 公益財団法人神奈川県栽培漁業協会の事業の発展を祈念いたします

神奈川県漁業協同組合連合会
代表理事 高橋 征人
〒236-0051
横浜市金沢区富岡東二-1-11
TEL 045-773-7777

漁船漁業を守ります。 神奈川県漁船保険組合
組合長理事 太田 謙
〒236-0051
横浜市金沢区富岡東二-1-11
TEL 045-773-7777

一般社団法人 神奈川県漁業無線協会
会長理事 磯部 進
〒238-0232
三浦市晴海町一七
TEL 046-188-2278

一般財団法人 東京湾南部水産振興事業団
理事長 小菅 君明
〒239-0831
神奈川県横須賀市久里浜八-1-15
TEL 046-183-3596
FAX 046-183-3490

神奈川県しらす船曳網漁業連絡協議会
会長 杉山 武
〒254-0803
平塚市千石河原二-1-11
TEL 046-311-1100
FAX 046-311-2529

株式会社リビエラリゾート シーボニアマリナー
〒238-0225
三浦市三崎町小網代二-186
TEL 046-188-2122

一月十一日 漁業者交流大会
平成二十八年度神奈川県漁業者交流大会は一月十一日午後一時から、横浜市栄区のあるすぶらぎで開催されます。冒頭、合計九名の新漁業士認定書授与式が行われます。

引き続き、「城ヶ島漁協の磯焼け対策」について活動発表が行われ、その後、神奈川県漁業士会の活動紹介、サバの漁況予測、漁業無線機の今後の使用、海洋科学高校の教育活動が紹介されます。

神奈川県漁業無線協会
神奈川県漁業無線協会(磯部進会長)は昨年九月二十七日、漁業者の生命と財産を守るため、横須賀市の長井漁港で「小型船舶救急支援システム」の説明・落水実験公開デモを行いました。

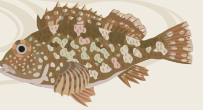
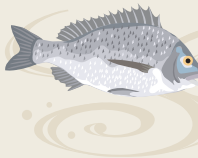
長井漁港で小型船舶救急支援装置説明会
参加した漁業者は陸上の救急信号解析表示装置、漁船の信号発信装置を見学、漁船から落水し、その情報に直ちに届くのを速さに驚いていました。

種苗放流・供給・普及啓発事業
日本釣用品工業会が二十万尾を、当協会から購入して放流しました。

マダイ
当協会は平成二十八年度事業でマダイ、ヒラメ、マコガレイ、クロダイ種苗を県下各地先の海に放流しました。

平成28年度栽培普及啓発事業

各地のイベントで参加者が種苗放流



マダイ

当協会は、神奈川県下の海を豊かにするため、水産種苗の生産・放流、配布などの事業に取り組んでいます。また、県下各地で開催されるイベントに協賛する「普及啓発事業」も実施しています。



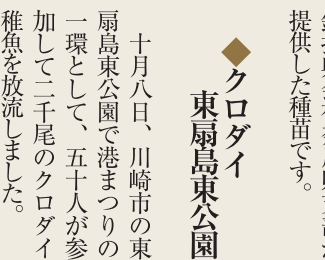
ヒラメ

七月十一日、地元の小学生が校外学習で遊漁船四隻に分乗し、千尾のヒラメ稚魚を放流しました。



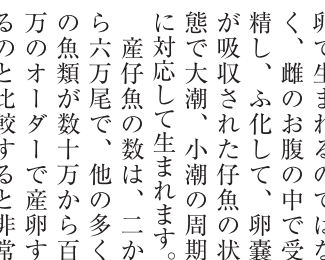
カサゴ

七月三十一日の町内のお祭りの一環として、お神輿を担いだ子どもたち四十人が、千尾のマダイ稚魚を放流しました。



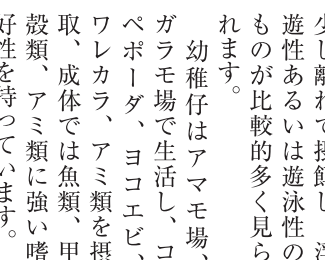
クロダイ

八月七日、小田原みなとまつりが開催され、三十人が漁船に乗り千尾のマダイ種苗を放流しました。当協会は、栽培漁業PRコーナーで稚魚の展示などを行いました。



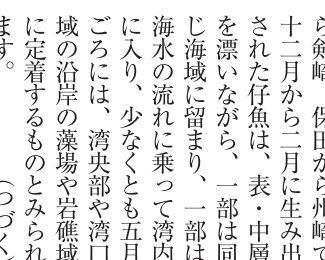
メバル

九月九日、NPO法人小網代パール海育隊は、三浦市立名向小学校の生徒三十人を招き、千尾のマダイ種苗放流学習を行いました。十六日には三崎小学校の生徒九十二人が参加する放流学習を実施しました。



カサゴ

九月十八日、(株)横浜埠頭は本牧海釣り施設で釣りを楽しんでいた人五十人に参加を呼び掛け、千尾のカサゴ種苗を放流してもらいました。



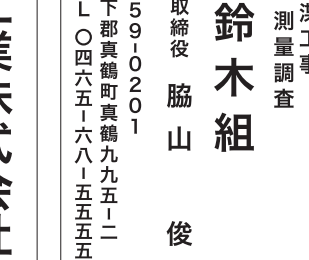
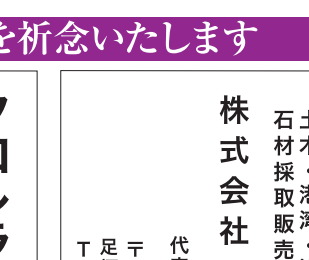
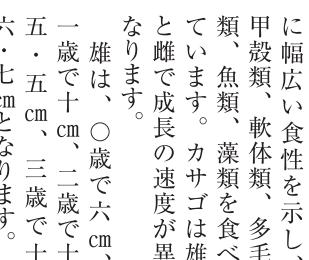
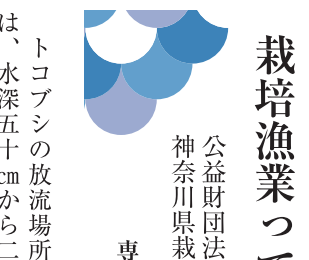
カサゴ

十月二日、横須賀市長井町・荒崎海岸のクリーンフェスタに参加した親子連れなど六十人がクロダイ種苗千尾を放流しました。六月と同様に日本釣振興会神奈川県支部が提供した種苗です。



メバル

九月九日、NPO法人小網代パール海育隊は、三浦市立名向小学校の生徒三十人を招き、千尾のマダイ種苗放流学習を行いました。十六日には三崎小学校の生徒九十二人が参加する放流学習を実施しました。



栽培漁業って何(21)

公益財団法人 神奈川県栽培漁業協会

専務理事 今井利為

トコブシの放流場所は、水深五十cmから二mの潮間帯から潮下帯が適切でしょう。住み場は直径三十cmから五十cmの礫があるところ、テンゲサ、アオサ、アラメなど幅広く繁茂し、これらの寄り藻があるところに多く見られます。トコブシの成長は、満一年で二・六cm、満二年、四・六cm、満三年、五・八cm、満四年で六・八cmとなります。トコブシを食害する動物はタコ、ヒトデ、インガニなどがあり、放流前にはこれらの動物を捕獲しておくとういでしょう。

カサゴとメバルは、卵で生まれるのではなく、雌のお腹の中で受精し、ふ化して、卵嚢が吸収された仔魚の状態で大潮、小潮の周期に対応して生まれます。産仔魚の数は、二から六万尾で、他の多くの魚類が数十万から百万のオーダーで産卵するのと比較すると非常に少なくなっています。カサゴは多回産仔魚であり、二、四月に産出するので、種苗生産は一度に産仔魚を集める必要があり、親魚を数百匹用意することが必要です。産出仔魚の大きさは三・八から四・二mmで産仔時期が早く小さく、遅れると大きくなる傾向があります。

カサゴの移動は五百から千五百m以内で、千m前後が多く、移動距離は小さくなっています。したがって、放流するときには収容力を勘案して一箇所に集中させず、放流を心がける必要があります。天然での幼稚魚は最大平方m当たり〇・三尾が棲息しています。放流の方法は、海面からの放流は食害に遭い易く、海底につけて放流する方法を採用したものです。

放流時期は、満潮時でしかもできるだけ日中で潮のひくにつれてカサゴが深いところに移動していくのが望ましいとされています。メバルは、猿島周辺から剣崎、保田から州崎で十二月から二月に生み出された仔魚は、表・中層を漂いながら、一部は同じ海域に留まり、一部は海水の流れに乗って湾内に入り、少なくとも五月ごろには、湾中部や湾口域の沿岸の藻場や岩礁域に定着するものとみられます。(つづく)

あけましておめでとうございます 公益財団法人神奈川県栽培漁業協会の事業の発展を祈念いたします

株式会社 パル 代表取締役 菅野茂樹 〒238-0224 神奈川県三浦市三崎町諸磯1249 TEL 046-880-0757 FAX 050-3730-8101

焼肉食堂 げんこつや ※薬山牛カルビ 一、〇八〇円 店主 石坂幸央 〒240-0104 横須賀市芦名二〇二二 TEL 046-857-1529 ■定休日:毎週火曜、第三水曜

(有)瀬戸活真センター 代表取締役社長 藤木治夫 〒720-0203 広島県福山市田尻町四二八九番地 TEL 084-956-1347 FAX 084-956-1347

クロレラ工業株式会社 生産本部技術特販部 〒833-0056 福岡県筑後市久富一三四三 TEL 094-251-2161 FAX 094-251-7203

株式会社 鈴木組 代表取締役 脇山 俊 〒259-0201 足柄下郡真鶴町真鶴九九五二 TEL 046-516-8155

土木・港湾・浚渫工事 石材採取販売・測量調査



三崎漁港

神奈川県下漁港めぐり…シリーズ① 遠洋マグロはえ縄漁船の基地 特定第3種「三崎漁港」

三崎漁港は国が政令で定めた「特定第三種漁港」です。三浦半島の南端に位置し、前面に城ヶ島という天然の防波堤に守られ、穏やかな良港となっています。

このため、古くは「江戸」と行き来する船舶の風待ち港として利用され、明治時代末期からは一大消費地である首都圏に近い、という「地の利」が生かされ、日本各地の遠洋マグロはえ縄漁船が水揚げ基地として活用するようになりまし。

しかしその後、遠洋マグロ漁業は、資源の減少などにより漁船経営からの撤退が続き、近年、マグロを主体に三崎漁港に水揚げされる魚介類は減少し、ここ数年、三崎魚市場の水揚げ高は約二万トンに落ち込んでいます。

冷凍マグロの水揚げとしては全国有数の漁港になり、昭和四十年代には沖合、沿岸水産物も加えると九万トン台の水揚げ高を記録しました。



三崎魚市場に並ぶ冷凍マグロ

さらに、三崎魚市場の高度衛生管理市場整備が始まり、低温室型の冷凍マグロの卸売場の新設と沿岸卸売スペースの改良などの事業がスタートしました。

「安全・安心な「三崎の魚介類」を消費者に届けることで地域活性化を目指す」というのもです。三崎漁港の再生を懸けた挑戦が始まっています。

特定第三種漁港利用範囲が全国的な漁港で水産業の振興のため特に重要である、と政令で定められた漁港です。全国に十三港あり、三崎漁港は昭和三十年代の早い時期に指定されました。

ただ、養殖魚の三崎港からの出荷事業をストップしていた団体が、昨年、事業を再開しました。また、「三崎のまぐろ」の灯を絶やさないようにと開発されたマグロの「とろまん」「ちまき」「ラーメン」などがヒット商品となっています。

国際協力事業団(JICA)の研修生が昨年十一月四日、当協会の訪問、神奈川県下漁業と栽培漁業について研修しました。栽培漁業について、施設を見学しましたが、「種苗放流効果の推定は」など熱心に質問

してました。来所したのは「漁業コミュニティ開発計画・フランス語Bコース」を学んでいるモロッコ、アルジェリア、モリタニア、カメルーンのコートジボアールの八名です。

研修内容は、神奈川県下漁業種類、種別漁獲量・漁獲量の減少を防ぐ方法・制度、法律などでした。そこで、人工的に受精卵から自然界で生きていける大きさを人間が飼育し、海に放し、収穫する栽培漁業の行程などを説明しました。

● JICA 研修生が訪問 ● 放流効果の推定など 熱心に質問

が、このときから同社は、「マダイをはじめとした釣りに係る事業を展開している企業なので」と寄付を続けています。

同社は、「海を楽しむものが水産資源に関心を持つのは当然のことです」と、春に行う「キスマスター」、秋の「ハギマスター」の参加者に呼び掛け、参加費の一部を資源増大に役立ててほしい、と

説明しました。同漁協の高梨瑞穂主任は、「アイゴとガンガゼの駆除で、漁業者が藻場保全が大切だ」という意識が生まれました」と説明しました。

東京海洋大の藤田大介准教授は藻場の効用やアイゴの生息範囲などを説明、相模女子大管理栄養学科四年の萩本果南さんは「アイゴの調理法とメニュー」を提案しました。

同社は、プレジャーボートの販売を手掛け、フィッシング・イベントを開催する機会が増え、そのためには水産資源の維持・増大が大切、だと考え当協会に寄付を行うことを決めたそうです。

水産土木建設技術センター、城ヶ島漁協、相模女子大は昨年十月十五日、城ヶ島漁協の会議室で「藻場保全交流会」を開きました。

同社は、「海を楽しむものが水産資源に関心を持つのは当然のことです」と、春に行う「キスマスター」、秋の「ハギマスター」の参加者に呼び掛け、参加費の一部を資源増大に役立ててほしい、と

同社は、「海を楽しむものが水産資源に関心を持つのは当然のことです」と、春に行う「キスマスター」、秋の「ハギマスター」の参加者に呼び掛け、参加費の一部を資源増大に役立ててほしい、と

「種苗放流効果の推定は」など熱心に質問

してました。来所したのは「漁業コミュニティ開発計画・フランス語Bコース」を学んでいるモロッコ、アルジェリア、モリタニア、カメルーンのコートジボアールの八名です。

研修内容は、神奈川県下漁業種類、種別漁獲量・漁獲量の減少を防ぐ方法・制度、法律などでした。そこで、人工的に受精卵から自然界で生きていける大きさを人間が飼育し、海に放し、収穫する栽培漁業の行程などを説明しました。

同漁協の高梨瑞穂主任は、「アイゴとガンガゼの駆除で、漁業者が藻場保全が大切だ」という意識が生まれました」と説明しました。

東京海洋大の藤田大介准教授は藻場の効用やアイゴの生息範囲などを説明、相模女子大管理栄養学科四年の萩本果南さんは「アイゴの調理法とメニュー」を提案しました。

同社は、「海を楽しむものが水産資源に関心を持つのは当然のことです」と、春に行う「キスマスター」、秋の「ハギマスター」の参加者に呼び掛け、参加費の一部を資源増大に役立ててほしい、と

同社は、「海を楽しむものが水産資源に関心を持つのは当然のことです」と、春に行う「キスマスター」、秋の「ハギマスター」の参加者に呼び掛け、参加費の一部を資源増大に役立ててほしい、と



城ヶ島を訪れた研修生たち

が、このときから同社は、「マダイをはじめとした釣りに係る事業を展開している企業なので」と寄付を続けています。

同社は、「海を楽しむものが水産資源に関心を持つのは当然のことです」と、春に行う「キスマスター」、秋の「ハギマスター」の参加者に呼び掛け、参加費の一部を資源増大に役立ててほしい、と

同社は、「海を楽しむものが水産資源に関心を持つのは当然のことです」と、春に行う「キスマスター」、秋の「ハギマスター」の参加者に呼び掛け、参加費の一部を資源増大に役立ててほしい、と

同社は、「海を楽しむものが水産資源に関心を持つのは当然のことです」と、春に行う「キスマスター」、秋の「ハギマスター」の参加者に呼び掛け、参加費の一部を資源増大に役立ててほしい、と

同社は、「海を楽しむものが水産資源に関心を持つのは当然のことです」と、春に行う「キスマスター」、秋の「ハギマスター」の参加者に呼び掛け、参加費の一部を資源増大に役立ててほしい、と

同社は、「海を楽しむものが水産資源に関心を持つのは当然のことです」と、春に行う「キスマスター」、秋の「ハギマスター」の参加者に呼び掛け、参加費の一部を資源増大に役立ててほしい、と

あけましておめでとうございます 公益財団法人神奈川県栽培漁業協会の事業の発展を祈念いたします

Brine Shrimp EGGS-90

株式会社 **北村**

〒604-0051 京都市中京区二条油小路町291
TEL 075-221-6695

売上の一部が
放流事業に寄付される
自販機設置にご協力
ください。

サントリービバレッジサービス株式会社

TEL 045-573-6366
FAX 045-573-2858

午後の紅茶